

## 町田市の風土歴史シンポジウムにおける講演の報告

短期大学部家政科 村田 あが

### 第1回風土歴史シンポジウム

主催：玉のよこやま道まつり市民実行委員会（町田市教育委員会）

日時：1999年4月24日（土）

会場：桜美林大学講堂太平館

講演演題：「風水思想と日本」

町田市のはずれに位置し、比較的山に囲まれた地域である相原地区では、市民や郷土歴史家、町田市教育委員会が中心となり、近年、町おこしの一環として地域の風水的な解釈を行っている。その中の具体的な活動として、相原地区の「風水ポイント探訪散策路」を設定、整備し、地域の行事として活性化しようという「道まつり」という運動がある。

このグループからの要請により町田市民を対象とするシンポジウムの基調講演として、標記の講演を行った。陰陽五行説に始まる古代中国以来の選地法としての風水説と、現在巷間に流布する風水ブームの違い、中国、台湾、香港、韓国などでの風水の解釈について、図版を含む配布資料とOHP、スライドにより説明をし、身の回りの環境を見直す視点としての風水説の取り上げ方について提言した。

環境保全、修景の方法としての風水説の活用や、山河を観察して祥瑞の形を見いだす感覚の理解、空間における方位の再認識に関する注意を喚起することができたかと思う。